



さわやか八中

H27 学校だより No.14
平成 28 年 3 月 25 日
文京区立第八中学校長
神保 道隆

18 日(金)に卒業証書授与式を挙行了しました

先週の金曜日、春本番を思わせる温かな陽射しの降り注ぐうららかな日、第 67 回卒業証書授与式を挙行了いたしました。そのときの式辞を掲載します。卒業生のためだけのものとしてではなく、これからの八中を支えていく 1・2 年生も自分のこととして改めて読んでください。

沈丁花の香りが路地の植え込みから清々しく漂う今日のこのよき日に、晴れの卒業証書授与式を迎えた 37 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書を手にした皆さんの姿を見ていると、3 年前の 4 月 8 日、リニューアルしたばかりのブレザーに身を包み、緊張して呼名に応えていた入学式が、つい昨日のこのように思い浮かびます。

あれから 2 年間の学びを基に取り組んだ修学旅行では、さわやかな早朝の若草山の頂から、奈良の町並みを見渡しました。

運動会で、伝統の 4 段タワーを成功させた誇らしげな男子の表情は自信にあふれ、リズムに乗って笑顔の華を咲かせた女子のダンスは見事でした。

合唱コンクールでも、「さすがは 3 年生」と言われる歌声を披露し、名実ともに第八中学校の 3 年生としての歩みを続け、今日を迎えました。

さて、入学式の日、私が皆さんにどんな話をしたか覚えているでしょうか。先週、記念館を訪れて事績を学んだ森鷗外の言葉を紹介したのです。

『日の光をかりて照る大いなる月たらんよりは、自ら光を放つ小さき灯火たれ。』

夜空に煌々と輝く美しい月は、自分自身でその美しい光を発しているわけではない。夜空の月とは反対側にある太陽の光を借りて美しく見えているにすぎない。他人の力を借りて自分を大きく見せるより、どんなに小さくてもよいから、自分自身の力で、自分の努力で、光り輝く人間になれ。と話しました。

また、人間は誰でも、褒めてもらいたい、認めてもらいたいという気持ちをもっている。それは人間として当然の気持ちだが、褒めてもらうために、何かをするのか。認めてもらうために、何かをするのか。そうではなく、目標に向かってひたむきに努力する姿に、人々は拍手を送る。苦しく、悩み、立ち止まることがあったとしても、また歩み続ける誠実な人間が最後には光り輝く。皆さんが中学校三年間で、どれだけ自分を輝かせることができるか、成長を楽しみにしている。とも話しました。

皆さんが歩いてきた第八中学校での 3 年間を振り返って、自分が輝く瞬間をどのくらいもてたでしょう。

修学旅行、運動会、合唱コンクールなどは輝きを放つ場面の一つに過ぎません。各教科の授業をはじめ、係活動、委員会活動、部活動、校外学習、また、地域の行事やボランティア活動など輝く機会はいつでもどこにでもありました。どこかで輝く瞬間をもつことができたとしたら、それは皆さんの目立たぬ努力の賜物です。その皆さんが発した輝きを、いつも誰かがしっかりと見つめてきました。クラスの仲間、後ろに座っている在校生、地域の皆様、私たち教職員、そして保護者の方々。

成長の証として、いたるところに輝きの記憶を残し、皆さんは第八中学校を巣立っていきます。皆さんの前に広がっている新しい世界には、つらく厳しいハードルが待ち構えているかもしれません。しかし、『自ら光を放つ小さき灯火たらん。』とする心があれば、そのハードルも越えることができるでしょう。皆さんが困難にくじけず、さらに大きく成長していくと信じています。

保護者の皆様、改めてお子様のご卒業、おめでとうございます。また、PTA活動では、さまざまな場面で生徒たちを支えていただき、心より感謝申し上げます。

生徒の少ない本校でのさまざまな教育活動は、お子様の成長の糧になったでしょうか。入学から、あっという間の3年間だったように思いますが、生徒たちがいつも何かの役割を担って活動しているというこの3年間の密度の濃さは、本校ならではのものと考えております。第八中学校に入学させて良かった、と思っていただけたら幸いです。

ご来賓の皆様、本日はお忙しいところ、第67回卒業証書授与式にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。第八中学校の生徒たちは、いつも地域の皆様に見守られ、支えられ、導かれながら大きく成長してまいりました。本日、巣立ちゆく37名の卒業生を、千駄木・根津という人情厚い地域の一員として今まで以上に温かく見守り支援していただきますよう、お願い申し上げます。

最後に、次の言葉を皆さんに贈り、式辞といたします。

剣の達人であり徳川二代将軍秀忠、三代将軍家光の兵法指南役として幕府を支えた柳生宗矩が遺した言葉、「人は人のために生きる」。

春休みにすべきこと

皆さんは、『イメージトレーニング』という言葉聞いたことがあるでしょう。一流のアスリートのトレーニングメニューにも、最近をよく取り入れられているそうです。

例えば、テニスの錦織圭選手が、全英オープンテニス大会の決勝で世界ランク1位のジョコビッチ選手と対戦し、大接戦の末に勝利する、というイメージを頭の中で何度も繰り返すことによって、実際にジョコビッチ選手と対戦したとき冷静にプレイし実力を発揮することができる、というものです。

4月から、2年生は3年生に、1年生は2年生に進級します。そこで、この春休み、新入生のお手本となるために、こんなイメージトレーニングをしてみませんか。

●夜遅くまで、コンピュータゲームをしたり、スマホのラインをしたりして、朝起きられず、ボーっとしていることが多い。



◎11時になったら、やっていたことをやめてお風呂に入り、リラックスして眠る自分。

●授業に集中することができず、学んだはずのことが頭に入っていない。



◎チャイムが鳴ったら、先生の説明や友達の意見をしっかり聞き、整理した考えを発言している自分。

●部活では一生懸命練習しているつもりだけれど、なかなか上達しない。



◎野球なら、ナイスバッティングやファインプレイをした自分。バスケットボールなら、相手のドリブルをカットして、シュートを決めた自分。

自分の良い姿をイメージし、現実の自分を良いイメージに近づけて、頼れる先輩として新入生を迎えましょう。